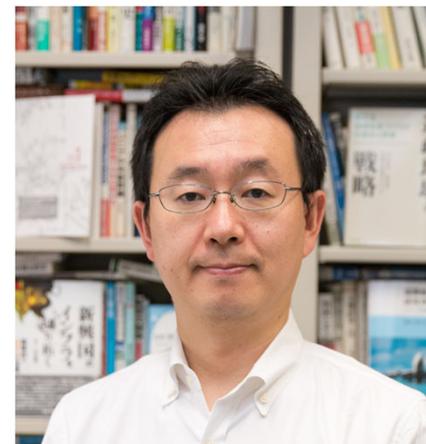


運輸総合研究所 第139回運輸政策コロキウム～ワシントンレポート～Ⅶ ～コメンテータご紹介～

**コメンテータ：加藤 浩徳 東京大学大学院工学系研究科 教授
運輸総合研究所 研究アドバイザー**



【学歴・職歴】

1993年東京大学工学部土木工学科卒業。1995年同大学院工学系研究科土木工学専攻修士課程修了。1999年博士（工学）取得。東京大学助手（1995年）、（財）運輸政策研究機構調査役（1998年）、東京大学専任講師（2000年）、同准教授（2004年）を経て、2013年より東京大学大学院工学系研究科教授。

【受賞】

日本交通学会賞（2014年）、米谷・佐佐木賞（2014年）、東アジア交通学会（EASTS）ベストペーパー賞（2015、2019年）、東京大学工学部ベストティーチングアワード（2018年）等を受賞。

【代表的な著書】

代表的な著書は、「交通の時間価値の理論と実際」（技報堂出版、2013年）、「メガシティとサステイナビリティ」（東京大学出版会、2016年）、「Global Logistics Network Modelling and Policy: Quantification and Analysis for International Freight」（Elsevier、2020年）等。

【社会活動】

交通政策審議会（国土交通省）専門委員（2015年～）、政策評価審議会（総務省）専門委員（2015年～）、Asian Transport Studies誌編集長（2016年～）等を務める。2016年より運輸総合研究所研究アドバイザー。

【専門分野・研究テーマ】

交通計画・政策、国際プロジェクト学